

博物館

1. 基本理念

- ・市民の創造性を高めます。
- ・郷土を大切に作る心を育みます。
- ・世代をつなぎます。
- ・歴史を未来に活かします。
- ・学校教育をより豊かなものにします。

2. 施設の概要

・名称	四日市市立博物館	
・所在地	四日市市安島一丁目3番16号	
・開館年月日	平成5年11月2日	
・敷地面積	1,845.840 m ²	
・建設面積	1,590.397 m ²	
・延床面積	10,147.108 m ²	
・建物構造	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下2F、地上6F	
・主な室名と面積		
展示・教育部門	2,156.155 m ²	
常設展示室	2 F	564.691 m ²
常設展示室	3 F	454.618 m ²
特別展示室	4 F	594.798 m ²
ラウンジ	2～4 F	281.020 m ²
情報コーナー	1 F	118.810 m ²
講座室	1 F	142.218 m ²
収蔵部門	1,256.230 m ²	
収蔵庫①	B 2 F	243.290 m ²
収蔵庫①前室	B 2 F	38.880 m ²
収蔵庫②	B 1 F	282.170 m ²
収蔵庫③	B 1 F	384.496 m ²
収蔵庫③前室	B 1 F	76.086 m ²
荷解室	1 F	231.308 m ²
研究部門	430.207 m ²	
作業室	2 F	60.464 m ²
資料整理室	B 1 F	84.370 m ²
文献資料室	3 F	37.952 m ²
資料評価室	4 F	33.300 m ²
くん蒸室	B 1 F	43.070 m ²
スタジオ暗室	B 1 F	87.510 m ²
ビデオ編集室	B 1 F	16.882 m ²
会議室②	4 F	37.952 m ²
会議室③	3 F	28.707 m ²
プラネタリウム部門	1,714.282 m ²	
客室（ドーム）	5 F～6 F	565.017 m ²
天文学習室	5 F	59.081 m ²
天文展示コーナー	5 F	194.763 m ²
天文係事務室	5 F	59.326 m ²
空調機械室	5 F～6 F	836.095 m ²
管理・一般部門	4,590.234 m ²	
事務室	3 F	105.059 m ²
応接室	2 F	37.001 m ²



会議室①	2 F	50.422 m ²
ミュージアムショップ	1 F	28.723 m ²
警備室	1 F	20.812 m ²
中央監視室	B 2 F	44.064 m ²
設備機械室	B 2 F	486.190 m ²
電気室、発電機室		240.152 m ²
倉庫、展示備品庫など		3,577.811 m ²
プラネタリウム		1,714.000 m ²
ドーム径 18.5m 傾斜型（傾斜度 20度）		
座席	155 席	
ヘリオス		
全天周映画	可能	

3. 展示等事業

(1) 常設展示

博物館の常設展示は、基本テーマ「伊勢湾（うみ）と鈴鹿山脈（やま）のある四日市の文化と生活環境」をもとに地質時代から現代に至る「四日市のあゆみ」をその時代ごとの特色を生かし、テーマ1～テーマ6に分けて展示する。

各テーマのスペースでは、そのテーマのメインとなる展示とその他の詳細な展示に分け、展示資料に応じて実物や複製品、情景模型のほか映像や図表などで表現している。

また、文化勲章受章作家で、四日市市名誉市民の丹羽文雄の業績を永く伝えていくため丹羽文雄記念室を常設する。

・テーマ1 北勢地域のおいたちと自然環境

テーマ展示では、本市平津町で発見されたアケボノゾウの臼歯の化石とその全身骨格の復元模型を展示している。

詳細展示では、「自然のすがた」「大地のおいたち」「化石は語る」など現在までの伊勢湾や鈴鹿山脈、伊勢平野の地形と地質の成り立ちや自然環境の様子を展示している。

・テーマ2 原始・古代の人びとの生活

テーマ展示では、縄文・弥生・奈良各時代の集落の様子や古墳時代の前方後円墳の築造過程を情景模型で展示している。

詳細展示では、「石器を使った人びと」「土器を使った

人びと」「米づくりと青銅器の製作」「大和朝廷と北勢地域」「古墳の築造と渡来人の活躍」「律令国家への道」など、旧石器時代から縄文・弥生・古墳・飛鳥・奈良時代を経て平安時代までの人々の生活の様子を展示している。

・テーマ3 『四日市』と『四日市庭浦』の成立

テーマ展示では、市名の由来となった中世後期の市や町並みの様子を推定復元し、情景模型で展示している。

詳細展示では、「中世の武士と商人」「伊勢湾諸湊と四日市庭浦」「くらしと生活用具」「いのりと信仰の世界」など、「四」のつく日に定期的に市が開かれて、『四日市』の名称が起こったこと、伊勢湾の水運にも『四日市庭浦』が重要な役割を果たしたことを中心に鎌倉時代から安土桃山時代までの様子を展示している。

・テーマ4 東海道と伊勢参宮道の賑わい

テーマ展示では、情景模型に映像を内蔵した特殊映像装置を用い、東海道と伊勢参宮道の分岐点である日永の追分の賑わいを再現している。

詳細展示では、「近世への胎動」「宿場と東海道」「四日市湊と町の展開」など四日市が東海道五十三次の四十三番目の宿駅として、また日永が伊勢参宮道との分岐点として発展してきた江戸時代の様子を展示している。

・テーマ5 四日市港と近代産業の発展

テーマ展示では、大正時代の市中心部の装置模型や旧四日市港の潮吹き堤防の情景模型を展示している。

詳細展示では、「みなとの整備」「近代のくらしと社会」「地場産業と近代産業」など本市の近代化の大きな礎となった四日市湊の改修と機械生産の技術導入による製糸をはじめ製茶、製網、製油、萬古焼の地場産業に焦点を当て、また、幕末、明治以降から市制を施行し次第に市域を拡大していく昭和初期までの近代の様子を展示している。

・テーマ6 戦災からの復興と都市の創造

テーマ展示では、本市の重要な産業である石油化学工業を映像や装置模型で展示している。

詳細展示では、「戦後のあゆみ」「港湾産業都市としての再生」「石油化学工業」「四日市港の輸出入」など。また情景模型に映像を内蔵した特殊映像装置を用いて甚大な被害をもたらした四日市空襲とその後の復興を再現するとともに、産業都市として再生してきた現代の様子を市民生活と産業の二つの視点から取り上げている。

・コーナー展示 浮世絵四日市・四日市祭り

四日市が描かれた浮世絵と、戦前には「東海三大祭り」のひとつに数え上げられた四日市祭りの代表的な山車や練り物を縮尺1/20と1/40の復元模型で展示している。

・丹羽文雄記念室

文化勲章受章作家で、四日市市名誉市民の丹羽文雄(平成17年4月逝去)の足跡と業績を紹介している。丹羽作品の初版本や豪華本を始め、芸術家のための健康保険組合の創設、「文学者の墓」の建立など、文学者の社会的地位の向上に尽力し、日本文藝家協会理事長をながく務

めた功績などを展示している。

また、20数年にわたって丹羽が私費を投じて刊行した雑誌「文学者」の同人たちが集った丹羽邸応接間も再現されている。

(2) 特別展・企画展

① 「捧げられた美の至宝 — 神宮美術館の近・現代美術の名品 —」		
会 期	平成23年4月23日(土)から 6月5日(日)までの38日間	
観 覧 料	一般 800円 高・大生 600円	
入館者数	2,777人	
講 演 会	4月24日(日)	「日本美術と世界」 高橋 明也 (三菱一号館美術館館長)

② 「レオナルド・ダ・ヴィンチーもう一つの遺産—」		
会 期	平成23年7月2日(土)から 9月4日(日)までの56日間	
観 覧 料	一般 700円 高・大生 400円	
入館者数	8,150人	
講 演 会	7月16日(日)	「科学者ダ・ヴィンチ、画家ダ・ ヴィンチー天才の真髄に迫る」 布施 英利 (東京藝術大学准教授)

③ 「四日市宿と東海道・参宮道」		
会 期	平成23年10月8日(土)から 12月4日(日)までの50日間	
観 覧 料	一般 500円 高・大生 300円	
入館者数	3,115人	
講 演 会	10月23日(日)	「お伊勢まいり今昔」 秦 昌弘(当館学芸員)
	11月12日(土)	「四日市の東海道・参宮道」 廣瀬 毅(当館学芸員)
落語会	11月5日(土)	「東の旅(伊勢参宮神乃賑)」 林家 染也

④ 「なつかしい昭和の暮らし」	
会 期	平成24年1月29日(日)から 3月18日(日)までの43日間

観覧料	一般 300円 高・大生 200円	
入館者数	8,110人	
講演会	2月4日(土)	「映画が切り取った昭和時代」 市橋 芳則 (北名古屋市歴史民俗資料館館長)

⑥『第53回北勢高校美術展』	
会期	平成24年1月17日(火) から22日(日)までの6日間
入館者数	478人

(3) 特別陳列・学習支援展示

学習支援展示

①大昔の四日市 — 弥生時代と 古墳時代 —	4月29日(金・祝) ～5月29日(日)	サルビアギャラリー ・3Fロビー
②四日市空襲と 戦時下の暮らし	6月17日(金) ～8月28日(日)	サルビアギャラリー・ 3Fロビー
③製糸のまち 明治の四日市 を知ろう	11月3日(木・祝) ～12月11日(日)	サルビアギャラリー 3Fロビー

特別陳列

①鎌井松石 三重本草	1月4日(木) ～2月12日(日)	サルビアギャラリー
②収蔵品展	2月25日(土) ～4月8日(日)	サルビアギャラリー

4. 教育普及事業

(1) 子ども博物館教室

①ワークショップ (全6回)

[場所：講座室及び館内]

5月14日	土	自然素材で アートしよう!	当館指導主事 三谷 耕介
6月18日	土	四日市空襲の お話を聞こう	
7月30日	土	パラシュート 模型に挑戦!	
8月6日	土	博物館を 探検しよう!	
10月22日	土	からくりおもちゃ に挑戦!	
11月26日	土	スノードームを つくろう!	

②親子で挑戦! 楽しい年中行事 (全5回)

4月30日	土	端午の節句	当館学芸員 廣瀬 毅 当館指導主事 三谷 耕介
6月25日	土	たなばた	
9月17日	土	豆名月	
12月10日	土	お正月	
2月25日	土	ひなまつり	

③むかし体験シリーズ (全3回)

2月4日	土	暮らしの道具を 使ってみよう	当館指導主事 三谷 耕介
2月18日	土	昭和っ子の あそびをしよう	当館学芸員 廣瀬 毅
3月3日	土	おやつをつくろう	

(2) ミュージアムセミナー

月日	内容	講師
9月4日(日)	佐伯 祐三	橋爪 節也(大阪大学総合学術博物館館長)
10月2日(日)	萩須 高德	山田 美佐子(稲沢市萩須記念美術館館長)
11月6日(日)	北川 民次	村田 真宏(愛知県美術館館長)
12月4日(日)	藤田 嗣治	林 洋子(東京造形芸術大学准教授)

(3) 大人の社会科

5月15日	日	バックヤードツアー	当館学芸員 廣瀬 毅
11月20日	日	一日学芸員体験	
1月22日	日	和綴じに挑戦	

(4) 古文書で知る江戸時代

4月17日	日	数を知る	当館学芸員 廣瀬 毅
5月29日	日	単位を知る	
6月26日	日	かなを知る	
7月24日	日	時を知る	
9月25日	日	暦を知る	
10月30日	日	異体字を知る	
12月18日	日	行事を知る	
1月15日	日	町を知る	
3月11日	日	村を知る	

(5) 教員のための体験的博物館研修

8月9日	火	教員のための 体験的博物館研修	当館企画普及係 職員
------	---	--------------------	---------------

(6) 博物館実習 (大学生・大学院生対象)

8月29日(月)～9月3日(土) 共通実習
9月4日(日)～9月30日(金) 個別実習
受講生 12人 (8大学)

(7) 職場体験 (中学生対象)

体験学校数 9校
体験者数 23名

(8) 学習支援展示「むかしのくらし」学校見学の対応
(小学校3年生対象)

【企画展2「なつかしい昭和の暮らし」展の一部として展示】

見学学校数 49校
見学者数 市内 2,894名・三重郡 298名
・その他 389名 計 3,581名

(8) ボランティアの養成と協働

登録者数 86人 延べ活動者数 1,395人

5. 資料収集・保存

(単位：件) (平成24年3月末現在)

1	区分	実物・標本	模写
人文学資料	(1)考古	1,174	29
	(2)美術工芸	2,555	10
	(3)民俗	4,689	10
	(4)歴史	8,382	37
	(5)文学	4,861	0
	計	21,661	86
2	区分	実物・標本	模写
自然科学資料	(1)動物資料	0	0
	(2)植物資料	3,272	0
	(3)地学資料	93	2
	(4)理工学資料	0	0
	(5)天文資料	7	0
	(6)その他の資料	0	1
計	3,372	3	

6. プラネタリウム事業

季節番組を2種類(家族向けと一般向け)に分けての放映方式を継続・充実させた。一般向け5番組のうち3番組を自主企画で制作し、50分間のフルライブ解説とした。また、通年番組として好評であった、星空をゆっくりと楽しむ星座神話番組「神話の星めぐり」では、見ごろの黄道12星座の神話などを、毎月内容を替えてライブ解説した。

また、市民が天文・科学をより詳しく学習する機会として、「宇宙塾」を年3回実施した。その他、聴覚障害者にも配慮した字幕付き放映、園児や児童を対象とした学習放映、各種コンサートを実施した。

天文普及活動では、科学技術振興機構(JST)の支援を受けて、12月10日の皆既月食にあわせた天体望遠鏡工作と観察会を実施した。また、子ども科学教室、少年自然の家との連携事業、小・中学校との連携による授業など各種の事業を実施し、幅広く天文の普及に努めた。

I プラネタリウム放映事業

(1) 季節番組

冬春番組

① 平成23年2月5日(土)～5月29日(日)
(一般)「地球サイエンス～小惑星衝突の脅威!～」
(家族)「仮面ライダーキバ&電王
デンライナー 宇宙へ!」

夏番組

② 平成23年6月4日(土)～9月25日(日)
 (一般)「ブラックホール 無限の彼方へ」
 (家族)「ドラえもん 宇宙ふしぎ大探検」
 平成23年7月21日(木)～平成23年8月31日(水)
 (一般)「HAYABUSA
 BACK TO THE EARTH 帰還バージョン」

秋冬番組

③ 平成23年10月1日(土)～平成24年1月29日(日)
 (一般)「幻想の世界 オーロラ」
 (家族)「ケロロ軍曹 星空をとりもどせ！
 太陽系大追跡であります！！」

冬春番組

④ 平成24年2月4日(土)～5月27日(日)
 (一般)「金環日食 ～太陽が魅せる神秘の瞬間～」
 (家族)「ヤッターマン 星空大作戦だコロン！！」

星座神話番組 神話の星めぐり

⑤ 平成23年4月1日(金)～平成24年3月31日(土)

4月 からす座特集	10月 やぎ座特集
5月 からす座特集	11月 みずがめ座特集
6月 てんびん座特集	12月 うお座特集
7月 さそり座特集	1月 おひつじ座特集
8月 (番組変更のため中止)	2月 おうし座特集
9月 いて座特集	3月 ふたご座特集

※ ①～③の番組については、各1回字幕付き放映を実施
 (ただし、「HAYABUSA」は除く。④は平成24年度に実施)

(2) 学習番組 (団体利用放映)

- ・ 平日の午前 ① 10:00～10:45 ② 11:00～11:45
- ・ 保育園、幼稚園、小・中学校、高校等の団体対象
 (事前申込みが必要)
- ・ 季節の星座を中心に、年齢・学年に応じた、生解説による
 双方向型の学習用プラネタリウム

<季節番組・学習番組の放映時刻>

平日	学習 10:00 11:00	一般向け 13:20	星座神話 14:40	
土曜日 春冬休みの 平日	家族向け 10:30	家族向け 13:20	一般向け 14:40	星座神話 16:00
日曜日・祝日 春冬休みの 土・日・祝日	家族向け 10:30	家族向け 13:20	一般向け 14:40	家族向け 16:00

夏休み 火～土	家族向け 10:20		家族向け 13:20	一般向け 14:40	一般向け 16:00
夏休み 日曜日	家族向け 10:20	一般向け 11:40	家族向け 13:20	一般向け 14:40	一般向け 16:00

(3) 特別番組

「宇宙塾」～天文楽しませんか？～ (全3回)

- ・ 天文学の最前線で活躍中の研究者などを講師として迎えて、最新の話題や実験・質問を織り交ぜた、プラネタリウム特別版 16:30～18:00
- ① 平成23年8月6日(土)「小惑星探査機はやぶさ2
～あの感動をもう一度～」
講師:JAXA 准教授 吉川 真
- ② 平成23年12月3日(土)「極光物語
ーオーロラからの贈り物ー」
講師:写真家 谷角 靖
- ③ 平成24年2月19日(日)「天文現象 金の年！」
講師:国立天文台教授 渡部 潤一

※ 指導者研修会と兼ねて実施

星空生演奏コンサート (全2回)

- ・ 時間:19:00～20:30
- ① 平成23年7月1日(金)
「七夕コンサート マリンバ・アンサンブル」
演奏者:大関 みき ほか
- ② 平成23年12月23日(祝・金)
「モンゴル大草原の旅 ホーミーと馬頭琴コンサート」
演奏者:岡林 立哉

星空CDコンサート (全3回)

- ・ 19:00～20:00
- ① 平成23年8月19日(金)・20日(土)
夏の星空と「嵐 (ARASHI)」特集
- ② 平成23年12月16日(金)
クリスマスの星空と「ゆず」特集

満天トラベルアロマと秘湯の旅惑星火山ツアー(全5回)

- ・ アロマ(柚子)の香りとともに、星空をお楽しみいただくヒーリング番組
- 日時:平成23年12月17日(土)～18日(日) 16:00～16:50
平成23年12月20日(火)～22日(木) 11:00～11:50

II 天文普及事業

子ども科学教室 (全2回)
① 夏コース 日時:平成23年8月14日(日) 一部 9:30~12:30 二部 13:30~16:30 内容:手作りプラネタリウム 内容:ペットボトル空気砲(9:30~14:30で先着順)
② 冬コース 日時:平成24年2月12日(日) 13:00~17:00 内容:手作り望遠鏡

公開観望会(きらら号が出動しない)
・ペルセウス座流星群と夏の星空観望会 日時:平成23年8月12日(金)・13日(土) 19:00~21:00 場所:星の広場(水沢町)
・りゅう座流星群(ジャコビニ流星群)観望会 日時:平成23年10月8日(土) 19:00~21:00 場所:星の広場(水沢町)

天文教育研修会
・教育支援課などと共催で、主に教員を対象
① 宇宙塾(3回) 平成23年8月6日(土)、平成23年12月3日(土) 平成24年2月19日(日)
② 天文教育研修会(1回) 平成23年7月29日(金)10:00~12:00
③ アウトドアセミナー②10:00~17:00 平成23年8月23日(火) 講師:天文係
④ 中学校理科教育研修会(1回) 平成23年5月18日(水)15:00~17:00

JST機関活動支援事業
・ガリレオに挑戦!~親子で天体観測~ 日時:平成23年12月10日(土)・11日(日) 場所:博物館、少年自然の家

学校との連携授業
・市内、三重郡の小中学校を対象に、出前授業を実施
① バーチャル星空探検 平成23年9月~11月の火~金曜日 対象:小学校4年生 内容:月の動きやスペースシャトルと国際宇宙ステーションについて、立体映像装置を用いて学習する。 実施校数:27校(市内23校、三重郡4校)
② 移動式プラネタリウム 平成23年11月~平成24年1月の火~金曜日 対象:中学校3年生 内容:星の日周運動や年周運動、北極・赤道での太陽の動き、金星の満ち欠けなどについて学習する。 実施校数:23校(市内19校、三重郡3校、その他1校)

7. 移動天文車「きらら号」事業

口径 20cm の天体望遠鏡を載せた移動天文車による星空観望会を実施した。天文ボランティアの方々の協力を得て、子どもから大人まで多くの人に実際の宇宙の姿を眺めていただいた。

(1) 派遣事業

要請により市内各地へ出動し、天文ボランティアの協力を得て観望会を行った。

「きらら号」稼働状況(派遣事業のみ)
稼働予定件数 33件 (うち派遣回数:19回、中止時の天文教室回数:6回 天候不順のため中止:8回)
参加者数 2,398人 (うち中止時の天文教室参加者数 283人)
ボランティア数 延べ102人

(2) 主催事業

「きらら号」稼働状況(主催事業のみ)
稼働予定件数 13件 (うち実施回数:9回、天候不順のため中止:4回)
参加者数 2,037人 ボランティア数 延べ81人
① 月と土星を見よう! 日時:平成23年5月8日(日) 19:00~20:30 場所:市民公園(博物館前)
② サンデー太陽展望会 日時:平成23年5月15日(日) 10:00~15:00 場所:四日市ドーム
③ 月と夏の大三角を見よう! 日時:平成23年8月6日(土) 19:30~21:00 場所:中央小学校運動場
④ サンデー太陽展望会 日時:平成23年8月7日(日) 10:00~17:00 場所:四日市港(ポートビル前)

- ⑤ 栗名月を見よう！
日時:平成23年10月9日(日) 18:30～20:00
場所:市民公園(博物館前)
- ⑥ 木星を見よう！
日時:平成23年11月20日(日) 18:30～20:00
場所:市民公園(博物館前)
- ⑦ 木星を見よう！
日時:平成23年12月18日(日) 18:30～20:00
場所:市民公園(博物館前)
- ⑧ サンデー太陽展望会
日時:平成24年1月8日(日) 13:30～15:00
場所:市民公園(博物館前)
- ⑨ 金星と木星、冬の星座を見よう！
日時:平成24年3月20日(祝・火) 18:30～20:00
場所:市民公園(博物館前)

8. 開館時間等

開館時間

午前9時30分から午後5時まで

(ただし展覧会への入場は午後4時30分までに)

休館日

月曜日(休日の場合は翌日)及び年末年始

館内整備期間(9月上旬)

9. 月別観覧者数

月	常設展		特別・企画展		プラネタリウム			月計
4月	26日	989	7日	451	23日	65回	1,565	3,005
5月	26日	1,503	26日	1,718	23日	74回	2,100	5,321
6月	26日	1,927	5日	608	23日	83回	4,074	6,609
7月	27日	3,012	26日	3,571	27日	105回	7,789	14,372
8月	26日	3,429	26日	4,064	26日	110回	12,093	19,586
9月	17日	1,199	4日	515	14日	48回	2,201	3,915
10月	26日	2,131	20日	1,240	26日	90回	3,362	6,733
11月	26日	2,142	26日	1,496	26日	88回	2,948	6,586
12月	24日	1,036	4日	379	21日	70回	1,931	3,346
24年1月	24日	1,347	2日	582	21日	69回	1,752	3,681
2月	25日	3,587	25日	5,397	22日	82回	3,176	12,160
3月	27日	1,557	16日	2,131	24日	85回	2,224	5,912
合計	300日	23,859	187日	22,152	276日	969回	45,215	91,226

[参考]

過去3年間の観覧者数

年度	常設展		特別・企画展		プラネタリウム		合計人数
22	299日	24,479人	195日	27,903人	275日	45,406人	97,788人
21	300日	22,399人	217日	24,956人	278日	38,538人	85,893人
20	297日	28,781人	221日	38,347人	275日	36,900人	104,028人

観覧料金

区分	博物館特別展示	プラネタリウム	プラネタリウム特別番組
一般	その都度定める額	530円	その都度定める額
高大生		370円	
小中生	無料	200円	

※20名以上の団体は2割引 ※博物館常設展示は無料

施設利用

	9時30分～12時	13～17時	9時30分～17時
特別展示室 595㎡	—	—	31,500円
講座室 142㎡	8,400円	12,600円	21,000円
市民ギャラリー94㎡	—	—	2,100円

※観覧料等を徴収する場合は、100分の50を乗じて得た額を加算する。

※博物館の設置目的に反しないもの、事業に支障のないものに限る。

※商業宣伝、営業行為には使用できない。